

# 令和3年度 琴浦町総合計画策定に係るアンケート結果（概要）

## 1 アンケート概要

- (1) 目的 総合計画策定に関し、計画課題と施策展望について検討するため
- (2) 対象 無作為抽出による18歳以上の町民2,000人に送付
- (3) 期間 令和3年6月25日～7月26日
- (4) 回答 447人（回答率22.4%）

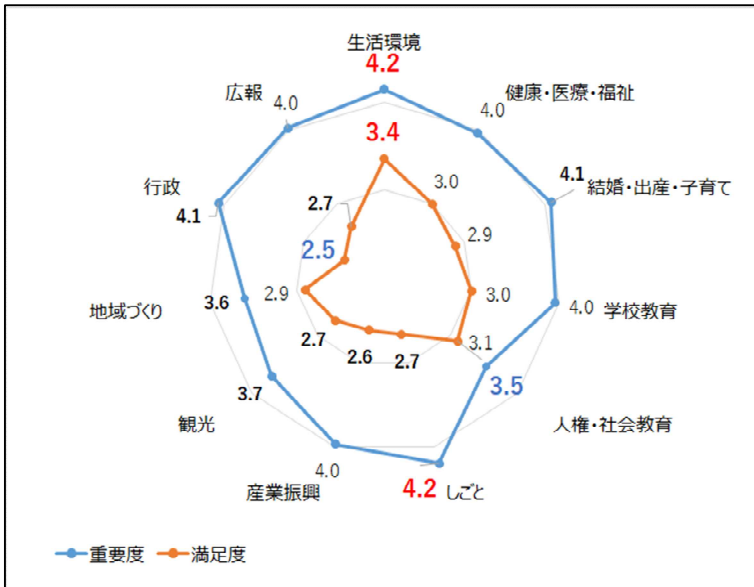
## 2 アンケート結果から見える課題

- (1) 琴浦町に住み続けたい人の減少

- ・ **これからも住み続けたい人の割合が減少する一方、転居の意向を示す人の割合が微増した。**
- ・ 町の目指す「暮らし続けることができるまちづくり」のためにも、改善すべき項目である。

年度	住み続けたい	当分の間 住み続けたい	将来的に町外へ 転居したい	すぐにでも 転居したい	どれでもない
R3	53.9%	23.7%	6.9%	3.0%	12.4%
H28	60.8%	18.0%	3.8%	1.9%	15.6%
H23	67.5%	12.8%	4.7%	1.2%	13.8%

- (2) 琴浦町の暮らしにおける重要度・満足度（5段階評価）



### 【重要度】

重要度をみると、町民は特に「生活環境」「しごと」「結婚・出産・子育て」「行政」について、重要視していることが分かる。一方、「人権教育・社会教育」「観光」「地域づくり」については重要度は低い。

### 【満足度】

満足度については、「生活環境」「健康・医療・福祉」「学校教育」「人権教育・社会教育」の満足度が高い。一方、「しごと」「産業振興」「観光」「行政」「広報」における満足度は低い。

- ・ 町民が最も重要と考える項目は、「生活環境」及び「しごと」となっている。このうち、「生活環境」は、道路、上下水道、防犯・防災、買い物の利便性などに関する設問であり、**琴浦町での暮らしについては、満足できる水準が保たれている**といえる。
- ・ 「しごと」については、**収入面、職業の選択、職場での子育て支援に対して、不満**を抱えている意見が多い。
- ・ 重要度から満足度を差し引いた値（乖離）が最も大きいのは「行政」となっている。この項目での設問は、「町民が行政に意見・提言できる機会がある。」「町の取り組みは住民の意向に沿っている。」であり、**町民の声が届く町政となるよう、一層の努力を要する。**
- ・ 重要度から満足度を差し引いた値（乖離）が最も小さいのは「人権・社会教育」となっている。一定の効果が得られている項目であり、これまでと同様の取り組みからの見直しを進めていく分野となっている。

### 3 琴浦町での暮らしを選んでもらうために

#### (1) 移住者を受け入れるための町の強み、弱み

- ・ 琴浦町の強みは、「**自然環境**」、「**生活環境**」、「**出産・子育ての環境**」とする意見が多くある。生活環境については、満足できる水準があるとも考えられるため、自然を活かした施策や出産・子育ての環境整備を充実していくことでまちの魅力向上に繋がると考えられる。
- ・ 一方、**弱みは、「雇用機会」であり、仕事の選択肢を増やすことが最も求められている。**

順位	強み	回答数	弱み	回答数
1	自然環境（海や山など）	331	雇用機会	273
2	生活環境（買い物等）	174	生活環境（買い物等）	132
3	出産・子育ての環境	61	医療・福祉	113

#### (2) 琴浦町を住み続けたい町にするために

- ・ 「このままでも住み続けたい」という意見が一定数あることから、この回答より上位に位置する項目を充実させていくことが、町民が考える住み続けたい町につながる取り組みと考えることができる。
- ・ 買い物等の生活環境の利便性については、満足度が高い項目にも該当していることから、**特に「医療・福祉」「出産・子育て」「交通」「雇用」「防災」の分野に力を入れることが必要**となっている。

順位	どのような町になれば住み続けたいか	回答数
1	<b>医療・福祉サービスが充実しているまち</b>	198
2	<b>子どもを産み、育てやすい環境づくりが進んだまち</b>	151
3	<b>商業施設など買い物に便利なまち</b>	112
4	<b>交通に便利なまち</b>	110
5	<b>就きたい仕事につけるまち</b>	108
6	<b>自然災害に強いまち</b>	95
7	このままでも住み続けたい	90
以下	地域住民がみんなで助け合うまち/第一次産業（農林、畜産、水産業）が活発なまち/充実した保育、質の高い教育環境が整備されたまち/地域でコミュニティが形成され、賑わいのあるまち/自然環境の保全や自然エネルギーを活用した自然と共存する持続可能なまち/デジタル化の進んだ利便性の高いまち/文化・芸術に力を入れて取り組むまち/観光資源が活かされ/観光で有名なまち	

### 4 総括

- ・ 第2期まち・ひと・くらし創生戦略にて「暮らし続けることができるまち、そして選ばれるまちをつくる」ことを目標に取り組みを行ってきたが、アンケート結果からはその効果があったとは言えない。
- ・ 「行政」「広報」に対する満足度が低いことを考えると、伝わる情報発信を心がけ、町民と行政との距離を縮めることが必要と考える。
- ・ 「雇用機会」「仕事の選択肢」といった施策の充実に対する意見が多く、人を呼び込むためには重要な施策である。企業誘致だけでなく、「地方にいながら都市の企業に勤める」「副業的に地方と関わる」など新しい働き方を町内でできる選択肢を増やしていくことが重要となる。
- ・ 自然や食といった琴浦町の強みを活かしながら、施策の選択と集中により暮らしの向上を図る。